

様式第8号(第7条関係) [1]

(議員用) (その1)

2019年6月28日

西宮市議会議長 様

議員名 一色風子 ●

2019年度政務活動費収支報告について
(4/1~6/10)

西宮市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、別紙
のとおり2019年度政務活動費収支報告書を提出します。
(4/1~6/10)

(議員用) (その2)

2019 年度政務活動費収支報告書
(4/1 ~ 6/10)

議員名 一色風子

1 収 入

政務活動費 280000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 ・ 会 議 費	31,870	議員勉強会・交通費
広 報 ・ 広 聴 費		
資 料 購 入 費		
交 通 ・ 通 信 費		
人 件 費		
事 務 費		
事 務 所 費		
合 計	31,870	

3 残 額 248,130 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

(様式2-2)

政務活動記録簿 (研修・会議費)

整理番号	/		会派名(議員名) 一色風子		
年月日	2019年5月15日(水) ~		年 月 日()		
開催場所 (都市・施設名等)	参議院議員会館 B107				
研修・会議名	第30回 地方×国政策研究会				
参加議員名	*複数参加の場合記入				
目的・ 内容・ 結果等 (別紙可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼・保無償化をどう考えるか ・ 自治体行政との向き合い方 ・ 地方議会改革 				
上記活動 に要した 経 費	会 場 費	円	内訳		
	講 師 費	円	内訳		
	交 通 費 (別紙可)				
	経 路	利用交通機関	積 算	金 額	領収書番号
	西宮 - 東京	JR	13,770 × 2	27,540 円	
	東京 - 国会議事堂前	東京×山手線	165 × 2	330 円	
				円	
				交通費 計	27,870 円
	宿 泊 費	円	内訳		
	食 糧 費	円	内訳		
	資 料 費	円	内訳		
	講習・記録費	円	内訳		
負 担 金	4,000 円	内訳			
		円	内訳		
活動経費 合計			31,870 円		
支出報告	以上のとおり活動し経費を支出しました。		議 員 名		
			一色風子		
備 考					

- * スペースが足りない場合は、別途資料を添付してください。
- * やむを得ず領収書を添付できないときは、支出報告欄に記載のうえ押印してください。
- * 整理番号欄は、必要に応じて適宜使用してください。

(様式7)

領 収 書 等 貼 付 用 紙

整理番号	1 - 1
項 目 ※該当する項目 一つに☑する	<input type="checkbox"/> 1:調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 2:研修・会議費 <input type="checkbox"/> 3:広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 4:資料購入費 <input type="checkbox"/> 5:交通・通信費 <input type="checkbox"/> 6:人件費 <input type="checkbox"/> 7:事務費 <input type="checkbox"/> 8:事務所費
備 考 (按分率等)	
支出年月日	2019年5月13日

一色風子 様

領 収 証

2019年5月13日

¥27,540 -

但し、東京-新版新幹線外
 西宮-加鳴普通乗務往復
 上記金額を領収いたしました。

※領収証は時間が経つと文字が薄くなる場合がありますので、
 長期間保存する際はコピーをとり下さい。

甲南チケット フレンテ西宮店
 西宮市池田町11-1
 フレンテ西宮1階

TEL 0798 - 23 - 1150
 FAX 0798 - 23 - 1150

担当: 
 003 936 現金

- ※ 重ねないで4隅をのりづけし、必要記載事項を消さないように注意してください。
- ※ この用紙に貼りきれない場合は、2枚目以降、別紙（白紙等）を使用することも可とします。
- ※ 領収書の横に領収書番号を記入してください。
- ※ 整理番号欄は、必要に応じて適宜使用してください。

(様式7)

領 収 書 等 貼 付 用 紙

整理番号	1-2
項 目 ※該当する項目 一つに☑する	<input type="checkbox"/> 1:調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 2:研修・会議費 <input type="checkbox"/> 3:広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 4:資料購入費 <input type="checkbox"/> 5:交通・通信費 <input type="checkbox"/> 6:人件費 <input type="checkbox"/> 7:事務費 <input type="checkbox"/> 8:事務所費
備 考 (按分率等)	
支出年月日	2019年5月15日
<p>地方×国 政策研究会 領 収 証 一色風子 様</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">4,000 円</div> <p>但し 政策研究会参加費として 2019年5月15日</p> <p>自治体議員政策情報センター 虹と野田 〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11 かつら野田ビル2F TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724</p>	

- ※ 重ねないで4隅をのりづけし、必要記載事項を消さないように注意してください。
- ※ この用紙に貼りきれない場合は、2枚目以降、別紙（白紙等）を使用することも可とします。
- ※ 領収書の横に領収書番号を記入してください。
- ※ 整理番号欄は、必要に応じて適宜使用してください。

●第30回地方×国政策研究会

抜 粋

- ・日時 5月15日(水) 10時～17時(予定)
- ・場所 参議院議員会館B107(予定) [地下鉄永田町・国会議員会館前徒歩5分]
- ・主催 自治体議員政策情報センター虹 とみどり

〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11 かつらぎ野田2F

TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724 E-mail:jichitaigijinjouhou@gmail.com

- ・参加費 会員議員2000円/非会員議員4000円
/会員市民 無料/非会員市民 500円

・テーマ

- (1) 幼・保無償化をどう考えるか
- (2) 先輩議員・元首長がアドバイス 自治体行政との向き合い方
- (3) 改めて考える。地方議会における改革とは何か?

・時間割

テーマ1 幼・保無償化(幼児教育・保育無償化)制度を考える

*10時スタート 開会挨拶(10分)

10:10～10:50 厚生労働省 職員

10:50～11:15 質疑応答 <10分休憩 職員との名刺交換など>

13:30～14:15 和光市での公立保育園の議論 沼尾波子さん(東洋大学国際学部教授)

14:15～14:45 質疑応答

テーマ2 先輩議員・元首長がアドバイス 自治体行政との向き合い方

11:15～12:30 アドバイス

12:30～13:30 [昼食休憩 同じ建物に食堂・コンビニあり]

テーマ3 地方議会の議会改革の到達地平と課題

14:45～15:45 江藤俊昭さん(山梨学院大学 法学部教授)による同題の講演

15:45～16:15 質疑応答

16:15～16:30 全体のまとめ・質疑応答・閉会の挨拶

*時間帯、順序などについては変更の可能性があります。

2019年5月15日

第30回 地方×国 政策研究会

テーマ1 幼・保無償化をどう考えるか

和光市公営保育所の在り方検討会での議論にみる子育て支援施策の課題

東洋大学国際学部国際地域学科

沼尾 波子

※本報告における意見はあくまでも報告者個人の見解であり、和光市役所の見解ではないことを、あらかじめお断りしておきます。

1. 検討委員会での協議の中身・論点・結論 (公務員保育士、組合、学識、民生児童委員)

- 1) 和光市の概要 11フレッシュ利用
- 2) 保育所の状況 一時利用 一日一回 2200円
- 3) 財政上の課題 障害児一時預かり
- 4) 和光市における子ども・子育て支援 (わこう版ネウボラ)
- 5) 限られた財源を活用して、どのように地域の子どもを育む環境を構築するか
- 6) 今後の課題

不交付団体

2. 幼保無償化に対する考え (私見)

- ・幼保無償化により、サービス需要はさらに増大する見込み
- ・限られた財源を有効に活用する方策の検討
- ・人員確保
- ・サービスの質の確保 世帯ごと
- ・障がい児への対応、育児が困難な世帯への対応 転居してしまうケースもある
- ・幼稚園・保育園に入園していない子どもや家族への支援をどう考えるか

3. 自治体におけるプラットフォーム構築

- ・ユニバーサルサービスとしての子育て支援 (子ども・子育て支援事業計画)
- ・住民ニーズの把握/事業者の課題把握
- ・子どもや子育てする人々を地域で見守るために窓口とプラットフォーム
- ・行政と現場との関係 (施策・事業 ⇄ 現場)
- ・多様化する事業者の間をつなぐ (連携・協働の関係構築)

資料：和光市公営保育所在り方検討委員会 (資料ならびに議事録)

(<http://www.city.wako.lg.jp/home/fukushi/kodomo/kodomokokosodatesiennsinnseido/koueihoikuenarikatakentouiinkaikoubo.html>)

大山市議会、市民スピーチ制度
5分

議会毎に反省会
追跡調査を議会により
質問から施策研究テーマへ

ほう類

抜 粋

2019年5月15日@自治体議員政策情報センター・虹とみどり

地方議会の議会改革の到達点と課題

江藤俊昭

(山梨学院大学)

議会は住民のものとして
公開で討議している

はじめに

——統一地方選挙から自治を考える——

- ① なり手不足問題 (なぜ問題か? 要因は (ならない、なれない) できない)
- ② 投票率の低下、再政治化へ (951年→投票率は下がり続けた 固定化する
71.75に上がった 多様性を失う、
核心自治体ダブルミニマム 若師型市民運動)
- ③ マニフェストの共有
議会全体のものにしていく、
政策をふりかえる

住民が条例の
改廃を常に
できるように。

1. 「住民自治の根幹」としての議会の作動：議会改革の本史への突入

(1) 議会改革の本史：議会基本条例に刻印

- ① 新たな議会 (閉鎖的ではなく住民と歩む議会、質問の場だけではなく議員間討議を重視する議会、追認機関ではなく首長と政策競争する議会)
- ② 議会改革の前史：情報公開、議会中継、対面式議場、一問一答方式等
- ③ 議会基本条例に刻み込む (北海道栗山町 2006年、市議会や都道府県議会もその後を追う)

(2) 「思いつきではない」改革

- ① 地方自治の原理に由来 (二元制→首長と議会の政策競争・議会の意思を示すための議員間討議、直接民主制の導入→議会にも行政にも多様な住民参加)
- ② 「住民自治の根幹」としての議会 (地域経営にとって重要な権限は議会 (自治法 96) → 「住民自治の根幹」だから → 多様性、論点の明確化・合意可能性、世論形成といった役割 (合議制) を担うから)

(3) 議会基本条例の展開【資料1】

- ① バクハツとしての展開 (約800自治体、従来とは異なる議会運営を明確化)
- ② 本史の明確化と進化・深化 (多様な・個性ある条例制定、以下の第2ステージを創り出す条文も)

(4) 地方政治の台頭と二元的代表制=機関競争主義の覚醒【資料2】

- ① 地方行政重視とから地方政治の台頭 (地方分権と財政危機)
- ② 首長主導型民主主義 (政治の論理としては選択の1つ、住民にとっては問題)
- ③ 二元的代表制

2. 議会改革の本史の第2ステージ：議会からの政策サイクル

- (1) 形式とともに内容を：住民福祉の向上に連動させる (自治法 100⑬・⑭)

地方分権

地方制度
調査会

抜 粋

表 議会改革と住民との関係

議会改革の段階	改革方向	住民との関係
前史 (議会活性化)	一問一答方式、対面式議場、委員会の公開等	住民の不信の蔓延
本史	第1ステージ	住民と歩む議会等の新たな議会運営 見える化、住民と多くの接点
	第2ステージ	住民の福祉向上につなげる 住民の信頼づくりへ

(2) 議会からの政策サイクルの発見

5年毎に検証する条文付き

- ④ 三重県議会 (新しい政策サイクル: 決議等による首長等の縛り) → 条々の検証を首長にさせる
- ⑤ 会津若松市議会 (議会からの政策形成サイクル: 住民を起点に政策開発 (住民との意見交換会での意見をもとに政策提言))
- ⑥ 飯田市議会 (まちづくり委員会との協働による政策サイクル (住民との意見交換会での意見をもとに政策提言、および議会による行政評価から決算審議・予算要望・予算審議)) 【資料3: 10年ほど前のもの】

(3) 議会からの政策サイクルの展開

① 多様な展開

- i 決算・予算、総合計画における準備会設置と論点整理 (会津若松市議会)
- ii 4年 (およびそれ以上を意識した) 多層なサイクル (可児市議会)
- iii ミッション・ロードマップ (大津市議会)

条々の検証をする

② 展開の要素

4年同様にいつまでどうあるべきか?

- i 目標設定と成果 (通年、通任期、それ以上)
- ii 住民を意識 (議会内外の住民参加)
- iii 多様な対象: 財政、条例、総合計画、決議・意見書・要望書

(4) 議会からの政策サイクルの特徴——「議会からの」を考える (総合性 (包括性ではない)) ——

- ① 住民目線⇔執行の論理
- ② 合議体⇔執行の縦割り行政
- ③ 少ないし資源⇔執行の豊富な資源 (財政・人事)
→総合計画、「隙間 (ニッチ)」政策

青森県 じい村
追跡・質問・通告なしでOK.
連続性をもった政策提言。

(5) 地域経営においては PDDCA サイクルを

行政改革や議会改革において PDCA サイクルの発想は重要であるとしても、地域経営において、PDCA サイクルで軽視されていた D (討議 (deliberation, debate, discussion)) と D (決定 (decision)) を組み込むことが重要である。それを踏まえない PDCA サイクルの活用は、知らず知らずのうちに行政の論理が浸透する。多くの議会に留意していただきたい論点である。逆にいえば、新たに付け加えた2つの D (討議と議決) を担うのは議会であり、それを無視する発想は議会を行政改革に包含させる。地域経営にとって従来の